

研修名 乳幼児・教育 幼児教育・保育

令和元年5月31日（金）10：00～12：30

講演 「保育所保育指針・幼保連携型認定こども園  
教育・保育要領について」

講師 大阪総合保育大学  
学長 大方 美香 氏

## 1 講演要旨

### 1) 幼稚園教育要領（改訂）及び保育所保育指針（改定）整合性の確保

・幼稚園教育要領の主な改訂の方向性

\*幼児期の終わりまでに育みたい資質能力の整理と評価の在り方

↳ ※心情・意欲・態度を置き換えた。

\*幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化 等

↳ ※決して、到達目標ではない。

・保育所保育指針の主な改定の方向性

\*乳児・1歳以上3歳未満児の保育に関する記載の充実

\*保護者、家庭及び地域と連携した子育て支援の必要性 等

↳ ※以前は、保護者支援だった。



※整合性を確保しつつ、教育、保育要領の記述内容に反映させる。

### 2) 幼稚園、子ども園、保育所、幼児教育の共通性の明確化

・平成30年3月末に、幼稚園幼児指導要録、保育所児童要録、幼保型認定こども園児童要録の、新しい形式が発表になった。

→新しい要録では「最終学年の指導に関する記録」の様式に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」が記載されている。これは、園での子どもの育ちを分かりやすく小学校に伝え、それを小学校でさらに伸ばしていくためである。

…小学校の学習の中で、10の姿の内容に一番近い教科は、“生活科”と言われている。

小学校指導要録の中にも「小学校入学当初においては、幼児期における遊びを通じた学びから他教科等における学習に円滑に移行し、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学習に向かう事が可能となるようにすること」と、記載されている。

→近年、遊びと教育は、繋がっていると分かってきた。

## 2 感想

・今回の研修の中で、10の姿について多く話された。幼児に遊びの中で学んだ事が小学校以降の学習にもつながっていく事を知り、子どもが主体となり考えて遊んでいけるような環境を作っていく事が大切であると思った。  
(記録 光保育園 前田智絵)